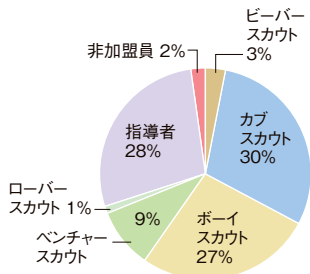


# 保険申請に見る夏期活動中の事故事例

スカウト活動中の事故が最も多いのが8月です。それもキャンプ場での事故が多く、事故全体の4割を占めます。夏期における事故の傾向は「そなえよつねに保険」に報告された事故事例の集計結果（2010年度分）からも読みとれます。今回は、この夏の計画に活用していただけるように、どのような事故が起こっているのかを紹介します。

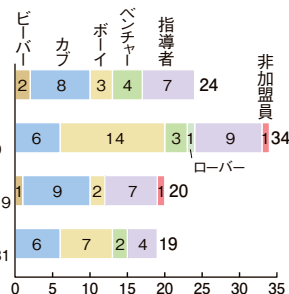
## 部門別

カブスカウト、ボーイスカウト、指導者がそれぞれ3割を占めました。指導者の事故の割合は年間20%ですが、7～8月は30%に増加しています。多くの指導者が夏期休暇を利用して活動に参加することが関係しているのかもしれません。



## 発生日別

8月前半までの事故が多いのは、スカウトが夏休み期間中であり、指導者も長期休暇が取れるため活動自体が活発で参加者も多いことに起因していると思われる。



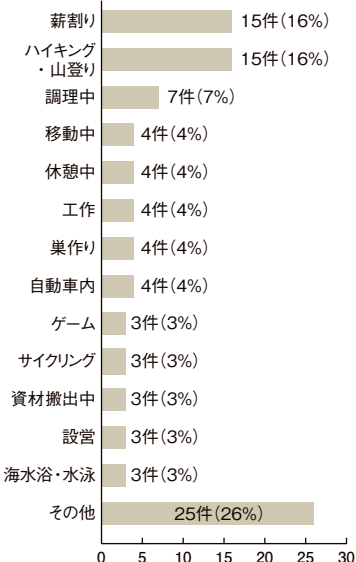
## 傷病別

切り傷や裂創が3割を占め、骨折も20%を超えました。自転車・車に起因する傷病も数例あがっていました。虫刺されも多く発生し、このうち蜂に刺されたケースは13件に上りました。蜂による被害はスカウト・指導者を問わず、また、一度の事故で4～6人が被害にあうなど集団行動時に襲われたケースもありました。

1位	切り傷	23件
2位	骨折	22件
3位	虫刺され	16件
4位	打撲	12件
5位	裂傷	8件
	脱臼・捻挫・靭帯損傷	8件

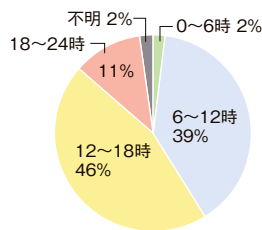
## 活動内容別

切り傷の多くは薪割り時のナタによるものでした。2010年夏に開催された15NJで受傷したケースも多く含まれています。ナタに関しては安全委員会が発行した「15NJにおけるナタによるケガの予防に関する調査報告書」(2012年3月)や、スカウティング誌2010年5月号、2011年7月号に関連記事が掲載されていますのでご参照ください。ナタの事故はキャンプ場だけでなく、自宅や団本部での事前準備の薪割りでも発生していました。



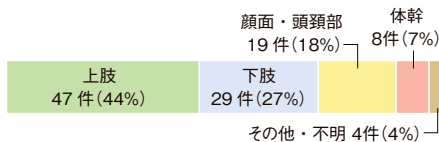
## 発生時間帯別

18～24時に発生した事故が11%を占めましたが、これは他の月と比べると倍の発生率です。キャンプ中の夜間プログラムや移動、資材搬出入に伴って起こっていたようです。夜間の設営中に頭部を打撲したケースもありました。暗い中で作業に伴うリスクを十分に考えたいものです。



## 部位別

半数近くが手や腕のケガで、刃物によるものが多かったです。資材搬出入時に



「崩れかけた荷物を支えようとして指を骨折した」「車から荷物を降ろしていた時に別の車がぶつかって全身打撲、左肋骨骨折、左下肢筋肉剥離、頭部裂傷を負った」という指導者の重大事故も報告されています。

## 事故事例

2010年度と2011年度に実際に起こった事故の例です。

傷病者	事故時の状況	どのようなケガをしたか
ボーイスカウト/14歳	夕食のハンバーグを調理中に、はねた油が両足にかかる	両足下腿やけど
ボーイスカウト/11歳	昼食準備、ゆで卵の入った鍋を川で冷却中、卵を取り出そうと鍋に手を入れた	左手中指・人差し指やけど
ボーイスカウト/12歳	夕食準備、ナタで薪を割っているとき、左手人差し指にナタが当たった	左手人差し指切創 4針縫合
カブスカウト/8歳	花火をしている時にろうそくを蹴り、融けたろうが足にかかった	右足膝下～つま先の4か所、 右足甲1か所にⅡ度の火傷
カブスカウト/9歳	キャンプ場でデン作りをしていた時に蜂に刺された	左足太ももに虫刺され
ボーイスカウト/14歳	設営時にベグを打ち込んだ際、自分の指を叩いた	右手人差し指、爪部分を打撲(内出血)
ボーイ隊長/20歳	撤営時、木の枝を切ろうとしてナタで手を切った	左手親指第1関節と付け根の間の切傷
ベンチャースカウト/18歳	バイオエアリング中、座って手で木材を持って削る作業中、手のひらにナイフが刺さった	刺し傷
カブスカウト/10歳	海水浴中に水中生物に刺された	左足の甲の腫脹
ベンチャースカウト/19歳	モンキーブリッジ製作中、丸太が折れて地面に落下した	全身打撲、頭部の擦過傷
ボーイスカウト/14歳	キャンプで鬼ごっこのゲーム中、砂場に足を取られて転倒	右足首捻挫
カブ隊長/51歳	深夜のキャンプ場で側溝に足を取られて2.5メートル転落した	肋骨骨折、打撲

## まとめ

夏はキャンプを中心に活発に活動がなされているので、事故の数も増えているものです。事故の具体的事例を見ると、もう少し注意すれば防げたのではないかとと思われるものもあります。事故の場面や内容を知って指導のポイントを再度認識していただきますと、事故の減少につながります。